

報道資料

令和5年1月17日(火)

福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:馬場・野坂
電話:0742-27-8653(ダイヤルイン)内線:3110、3111

新型コロナウイルス感染症の院内感染事案（クラスター事案）の発生について （奈良東病院第4報（最終報））

奈良東病院において、これまでに入院患者25名、職員21名計46名の感染が判明しました。感染状況から、入院病棟A、入院病棟Bおよび入院病棟Cにおいて院内感染（クラスター）が発生したと考えられます。

これを受け、当該医療機関では病棟の職員及び入院患者に健康観察を行ってきましたが、健康観察期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから、院内感染事案は終結し、本日（1月17日）から奈良東病院はすべての病院機能を再開します。

感染拡大の原因は、感染者の早期発見および感染防御策の徹底が不十分であったことと推定しています。

当該医療機関では改めて職員の感染防御策の徹底（手指消毒、マスク着用、PPE（個人用防護具）着用）および職員・患者への健康管理の徹底を行うなどの再発防止策を講じたところです。

1 発生場所

奈良東病院（所在地 天理市中之庄町470）

2 感染者の概要（合計46名）

- 経緯:入院病棟A 12月7日に2例の感染を確認。その濃厚接触者等の検査結果から14例の感染を確認。
入院病棟B 12月12日に1例の感染を確認。その濃厚接触者等の検査結果から5例の感染を確認。
入院病棟C 12月19日に1例の感染を確認。その濃厚接触者等の検査結果から23例の感染を確認。

・感染者内訳:入院患者25名、職員21名

20代4名、30代5名、40代10名、50代2名、60代2名、70代6名、80代10名、90代7名

	入院病棟A	入院病棟B	入院病棟C
入院患者	8名	—	17名
看護師	3名	3名	3名
リハビリ医療技術者	—	2名	1名
介護福祉士	4名	1名	2名
介護士	1名	—	—
事務員	—	—	1名
合計	16名	6名	24名

※第3報(12月20日)以降、入院患者14名、職員7名の感染が判明しています。

3 県の対応

- ・入院患者の健康観察の徹底と発熱等患者発見時の早期検査実施を指示
- ・職員の日常生活を含めた感染対策の徹底を指示

4 病院の対応(1月17日0時時点)

- ・関係箇所の消毒実施
- ・入院病棟Aの新規入院の受入と退院を休止(12月7日～12月30日)
- ・入院病棟Bの新規入院の受入と退院を休止(12月12日～12月23日)
- ・入院病棟Cの新規入院の受入と退院を休止(12月19日～1月16日)

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。